八幡宮　岡山県神社庁　神社検索システム

由緒

創立年代、由緒等は不詳であるが、往古は西大寺窪八幡宮の御神幸所であったと云われる。又、近くの上寺山豊原北島神社の玉垣に川口の人々の名前が刻まれている事から、豊原北島神社との関係も注目され、同神社への参拝が不便なるが故に（往時吉井川が川口地区の東を流れ神崎に注いでおり、今の千町平野は海であった）川口地区にも八幡宮を祀ったと古老は口碑に伝えている。実に往時は、吉井川の河口に開けた集落ゆえに川口と呼ばれたのであり、附近の地名ー豊原北島、豊原南島、神綺、浜、新地、新（しむら）ー等々を総合的に考察すれば、かなりの古社である事がわかる。現存する棟札で最古のものは、文政４年のもので、

　文政４年辛巳年　奉建立　幣殿拝殿一宇　神職　柴俊治守貫　名主　片岡藤三郎　　五人組頭　阿部十三郎　　世話人　阿部良助　　大工　安田常三郎とあり、文政４年巳年９月９日　阿倍　良介との古き石燈篭も存する事より、当時かなりの整備、改築が行なわれ、神職も柴家が代々奉仕していた事が伺われるのである。神社明細帳（明治初年版）に依れば、社鎖は６斗１升を賜わり、神職、柴啓治は先祖平左ヱ門より８代目である事などがわかるのである。

更に　天保７年４月、石橋の寄進　阿部　良介　明治１７年５月　本殿の屋根替え　明治４２年１０月　狛犬奉納　柴　葺四郎　大正７年１月　注連柱建立　柴　清七　昭和１８年５月　本殿銅板葺替　氏子中　昭和４７年１０月　拝殿改築　氏子中　等々の寄進や修築がなされて来た事がわかるのであり、寛文年中に戸数７０戸と文献に残る川口は、現在も８０戸余りの氏子であるが、この小さな川口地区が、立派な氏神様を先祖代々守護して来た事は特筆すべきであろう。

前の写真へ次

基本情報

神社コード	08028
神社名	八幡宮（ハチマングウ）
通称名	川口の八幡様
旧社格	村社
鎮座地	〒704-8125 岡山市東区西大寺川口232
電話番号	
FAX番号	
駐車場	無
御祭神	応神天皇,仲哀天皇,神功皇后
御神徳	
主な祭典	１０月第３土曜日：秋祭り １月２日：新年祭
宮司宅電話	0869-34-5197
URL	

e-mail

特記事項

氏子地域 岡山市東区（西大寺川口）

交通アクセス

岡山ブルーライン西大寺インターチェンジの北約１km

神事一覧

子供神輿行事	祭礼日時：10月第2土曜日1時	文化財指定： 無	神事詳細

検索画面に戻る

© 2016 Okayamaken Jinjacho